

のっぽの手

発行
ふくしまNPOネットワークセンター
〒960-8034
福島市置賜町1-29 佐平ビル8F
TEL024(528)1211 FAX(528)1218

賛助会員の勧誘に当たって想うこと

賛助会員の獲得のため、このところ代表理事3人で企業や団体回りをしている。NPOのことは新聞報道などでだいぶ知られるようになってきたものの、まだまだ打てば響くというような客観情勢にないのは確かである。第1関門は、いまなぜNPOが必要とされるかを訴え、まずはNPOに対する理解を取り付けなければならない。そして、第2関門は、「ふくしまNPOネットワークセンター」の活動に対して、賛意を取り付けなければならぬ。

幸いなことに、お会いしていただく企業や団体のトップの方は時代の動きを敏感に受け止めておられ、第1関門は私たちが想像していた以上に通り抜けていくことが出来る。場合によっては、組織内にNPO事情に詳しい方が同席されたりして、想いも掛けずNPOについての意見交換で花が咲いたりすることもある。第1関門は、ご厚意にも助けられ、どうにか順調に関門をくぐり抜けさせていただいているようだ。

企業や団体を訪問して分かってきたことは、どうやら本当は第2関門の方が難関であるのではないか、ということである。まだ誕生したばかりのよちよち歩きで、十分な実績をあげるまで至っていないことに加え、私たちの組織の活動主旨が実感として受け止めにくい点がありそうである。たとえば、NPOのためNPOとはいったいどのような活動をするのだろうか？ ネットワークセンターとはいかなる意味においてセンター的役割を

果たそうとしているのか？ 福祉活動とか文化活動とは違って直接的な現場のイメージが涌きにくいために、直感的に活動の中味を理解していくには、やや長い時間の付き合いの中で実績をみていただくしかないのかもしれない。もちろんその時間の中で、私たちのNPOにおいては、私たちなりに抱える「現場」があることを明らかにし、活動の意義ができるだけ多くの人々に知っていただけるよう努力していかなければならないのだろう。

さてそのようなわけで、「ふくしまNPOネットワークセンター」の現在時点でのバランスシートは、期待と好意が実績と評価を大きく上回っていると捉えておくべきであろう。営利企業であるなら、初期投資に要した借入金を返済しながら健全経営に舵取りしていくことが求められるように、非営利組織である私たちNPOは、今後時間を掛けながら上述のバランスを回復していくことが求められている。眼前には、県からの委託調査事業、他のNPO団体と連携した啓発活動としてのフォーラムの開催、行政や企業とのパートナーシップのあり方の検討、市民活動の専門家としての人材データベースの作成、NPOのあり方を検討する研究会の継続的開催など、バランス回復へ向けての材料は沢山ある。

星野 瑛二
(ふくしまNPOネットワークセンター代表理事/
福島大学経済学部教授)

2000年度下半期

活動報告

NPO法人ふくしまNPOネットワークセンターの
8月以降の活動状況は以下のとおりです。

8月

2000年

- ・特定非営利活動法人 ふくしまNPOネットワークセンター設立登記

9

・第7回福島NPO研究会 開催

SOHOとNPOの連携を考える

ゲスト会津リエゾンオフィスSOHOスタッフ 五十嵐直子氏

- ・カルチャーネットワーク（白河市）設立1周年記念フォーラム参加
- ・福島県ボランティア・NPO活動市町村連絡会議 事例報告



10

・ふくしまNPO市民フォーラム（まちづくりサポート事業）開催

※次ページをご覧下さい。



11

・第4回どうすっぷ福島博覧会 参加福島県NPOセミナー 参加

- ・「市民活動団体の実態調査」（福島県県民生活課委託）事業開始

関心を呼んだ市民フォーラム

12

- ・ILセンター福島、BFCふくしま 法人設立申請等相談

- ・市民活動参加に関する情報提供・個人相談

- ・朝日新聞、毎日新聞、福島民報、福島民友、NPO及び当センターに関する
　　インタビュー（斎藤代表理事）

・第8回 福島NPO研究会開催

エコマネーとは？～その可能性を探る～

ゲスト：星野琪二氏、薄井義広氏



1

2001年

・第9回 福島NPO研究会開催

再生・白石スキー場の挑戦～NPO法人不忘アザレアの活動～

ゲスト：「NPO法人不忘アザレア」

理事・事務局長・木村旅館店主 木村 孝氏

活発に議論された
第9回福島NPO研究会

※「のっぽの手」第一号でお知らせした以降の当センターの動きです。第1号をご希望の方は当センターまでご連絡ください。

新しい市民社会のシステムづくりを目指すNPOですが、置かれている現状は組織・財政基盤が弱く、運営の手法や人材確保にさまざまな課題を抱えています。これらの課題解決に向けての対応策はもちろんのこと重要なのは社会的な基盤整備を行うことであり、それをみんなで取り組んでいくことです。

「市民・行政・企業との協働社会」というテーマのもと自分たちの活動をどう強めていくか、他の活動報告や行政・企業を視野に入れた協働社会考という考えを中心に討議することを目的とし、さらにこのフォーラムが社会基盤の整備・確立のきっかけとなることも念じながらフォーラムは開催されました。(2000年10月7日開催の「市民フォーラム」の「開催にあたって」より。)

基調講演

「市民と行政のパートナーシップ」

卯月盛夫(早稲田大学教授)

- 住民参加型まちづくりの実践家として、日本のパイオニア的な存在の方です。

第1分科会「まちづくりと市民活動」

コーディネーター 永幡 幸司(福島大学助教授)
パネリスト

谷ヶ城 隆(会津NPOセンター理事長)

松田 剛志(フォーラムパワーアップいわき理事)
コメンテーター

阿部 重憲(まちづくり政策フォーラム理事)

第2分科会「文化・教育と市民活動」

コーディネーター 星野 瑛二(福島大学教授)
パネリスト

佐川 綾子(カルチャーネットワーク理事)

澤田 聖子(喜多方子ども劇場理事)

コメンテーター

松田 英明(行政と公務員のフォーラム代表)

第3分科会「介護・福祉と市民活動」

コーディネーター 鈴木 典夫(福島大学助教授)
パネリスト

須田 弘子(まごころサービス福島センター理事長)

吉田 公男(市民活動センター理事)

コメンテーター

本田 陽子(福島県介護福祉士会会长)

NPOってなんのこと?

最近はNPOやらITやら、テレビのニュース番組や新聞で多く登場しますが、横文字ゆえにややこしくて、時には「?」という時もあります。NPOとNGOは似ていますがどうちがうのでしょうか?

NPO (Nonprofit Organization; Not-for-profit Organization)

直訳すると非営利組織となります
が、政府の支配下にある組織は
含まないので正確には「民間非営
利組織」と呼ぶのがふさわしい。
非営利とは必ずしも「無償」を意
味しません。ただ、有償であって
も営利よりも社会的使命を優先して
活動する団体がNPO法人といえます。

NGO (Non-Governmental Organization)

NPOと似ているのでちょっと混同
しやすい用語ですが、直訳すると
非政府組織といいます。NGOは国連
から生まれた国際的な活動を行
う組織を指す場合が多く、NPOと同様、
営利を目的としない活動をしてい
ます。

(『情報・知識 imidas2000』集英社を参照し、一部当センターの解釈)

2001年度 事業 実施 プラン(案)

ふくしま NPO ネットワークセンターでは、2001年度の事業として、次のような事業計画(案)を進めています。

1 NPO と企業のパートナーシップ

企業が NPO に対してどのような関心・期待をもっているか、さらに企業の社会貢献活動についての意識と現状を理解するため福島市内の経済人、商工団体、青年会議所等と懇談し、継続的に推進可能な懇談会の設置を検討します。

この懇談会は、NPO と企業のパートナーシップのあり方及び公益活動に参加する方策を検討すると共に、NPO サポートについても併せて検討するものとします。なお、福島県内で NPO と企業のパートナーシップのあり方について関心のある団体は、当センターまで情報を寄せいただければ幸いです。

2 NPO(市民活動) 実践講座の開設

NPO について関心が高まり、社会的にも認知されつつある現在、市民活動の現場に役立つ実践的な講座として、NPO 法人化、NPO マネジメント、会計・税務講座および NPO と市民活動に係わるまちづくり、介護・福祉、IT、コミュニティ・ビジネス等の実践講座の開設を計画しています。

■当面の講座の科目は次のテーマ(案)を検討しています。

(1) NPO 法人の実務・実践講座

- ① NPO 法人の設立・運営
- ② NPO 法人の会計・税務
- ③ NPO 法人のマネジメント
- ④ NPO 法人の資金調達

(2) NPO、市民活動に係わる実践講座

- ① まちづくり
- ② 介護・福祉
- ③ IT(情報技術)
- ④ コミュニティ・ビジネス
- ⑤ 地域通貨(エコ・マネー)

■ 対象者

NPO、市民活動に関心のある方でしたらどなたでも参加できます。

3 ふくしま NPO 市民フォーラム(PART II) の開催

「市民・行政・企業の協働社会をめざして」をテーマに、昨年第1回 NPO 市民フォーラムを開催しました。フォーラムは県内の NPO 法人、市民活動団体が参加し、熱心な討論が展開されました。市民の公益活動への参加をはじめ新しい市民社会のシステムづくりをめざして、市民・行政・企業のパートナーシップを進めるために、第2回市民フォーラムを開催することを計画しています。開催日は、今年9月1日(土)を予定しています。企画内容については今後、検討していきますがアイデア、ご意見等を当センターにお寄せいただければ幸いです。

4 人材データベースづくり事業

市民活動や広い意味での「まちづくり」を実践的に進めていくためには、各分野の専門家との協力関係が不可欠です。NPO 活動をより充実した、力量のあるものにするために、専門家集団のデータベースづくりを進めていく計画です。

※福島県内に「こんな人がいます」といった情報があれば、当センターまでお寄せください。

※2001年度総会の案内

- ・当センターでは法人設立2年目を迎え、「2001年度」総会を6月末に開催予定です。
(詳細は追って御通知致します)
- ・会員の皆様におかれましては、上記事業計画案についてのご意見をお寄せください。

会員紹介

24時間スタンバイ! ~NPO 法人まごころサービス福島センター~

■4月から新たにデイケアセンターがオープン
まごころサービス福島センターは99年8月にNPOとして設立されましたが、任意団体としての発足は92年4月。「市民が自主的・主体的に発足させた任意の在宅福祉団体」でした。それが現在は市民の共感を得ながらサービスの拡大し在宅福祉、介護事業、ホームヘルパー養成事業、通院や買い物などの移送サービスなどを行っています。2001年4月からはミニデイケアサービスを開始する予定で、その準備が着々と進行中です。このミニデイケアサービスは福島市の御山地区をベースに介護予防の意味を含め、生きがいを持って活動できるような‘たまり場’づくりを目指しているそうです。いわば地域の真の意味での「まごころサービスセンター」の立ち上げというところでしょうか。デイケアサービスは利用者の立場を考えて土、日のを中心と考えているそうです。これは高齢者の中には子どもと家庭内別居というケースもあり休日に孤独な思いをしないようにという配慮から。「サービスするというよりも自主性を重んじ主体的にその人らしく過ごしてもらうのが理想。高齢者の方に得意なことを發揮してもらいたい。もう一つの家として気軽に利用してもらえば」と理事長の須田さん。デイケアサービスの“施設”というよりはお友達の家に遊びに来たという感覚のスペース。これなら気兼ねなく足を運べそう。

■もっともっと“まごころサービス”を実践するために!

須田さんは4月から介護福祉士を目指して福島学院短大に通うそうです。「事務所のみなさんの理解があつてこそ。介護福祉士の知識がなにかの役にたてば」。取材でお邪魔している間も電話が。親身で“まごころ”あふれる電話応対。須田さんのバイタリティがまごころサービスを牽引しているひとつの力になっていることが伺えます。

■ほのぼのきっちり!サービスの現場

さて実際にサービス利用しているお宅にもお邪魔することに。サービスを受けているのは諸橋さん御夫妻。二年ほど前から週4、5回、食事、掃除、介護などのサービスを利用している。

「ヘルパーの方が来てくれると入院しなくても自宅で療養できるのでとてもありがたい。精神的にも助かっている。」と奥さんのマサさん。御主人の竹蔵さんは取材当日にベットが到着したばかり。91才と高齢ですがワープロを使いこなし、自作の芸術作品に

ついて熱く語ってくださったりとお元気。諸橋さん御夫妻を担当しているヘルパーさんは会田富士子さん。



まごころサービスが家から近かったことがヘルパーをきっかけだったそうです。当初はタイムストックでサービス提供していましたが、介護保険制度の導入を期に本格的に始めたそうです。現在は主に月一金曜日に一日3、4件サービスしています。「お宅によってヘルプの内容もケースバイケース。朝のみ、入浴のみという利用者の方もいます。」

細く長く続けられるように無理をしないこと、周囲のひとに迷惑をかけないよう体調管理には気をつかうそうです。「利用者のみなさんは自分の未来予想図。いろいろな方がいるので仕事を通じて学ぶことも多い。一ヶ所で仕事を続けるわけではないので気分転換にも。」と会田さん。諸橋さん御夫妻と会田さんの笑顔が三人の信頼関係を物語っていました。

まごころサービス福島センターが発足してから9年。今後ますます地域でのサービスが期待されるのはもちろん、福島のNPO法人の「星」としても活躍を期待したいと思います。

★ まごころサービス福島センターのしくみ

(パンフレットより)

- 利用会員、協力会員共に年会費を納めて会員となる。
- 利用会員は家事援助サービスには一時間につき800円、介護援助サービスは900円を払う。協力会員は現金支払い、無報酬という選択肢のほかに時間を貯蓄し自分や家族など必要になったときにサービスネットのある地域で貯蓄分のサービスを受けることができる“タイムストック”という制度もある。
- 低料金サービスのため資金援助をしてくれる賛助会員や事務・運営に携わる多くのボランティアのみなさんに支えてもらっている。

〒960-8252 福島市御山東壁谷沢22-1

TEL・FAX 024-554-1632

N P O

情 報

掲 示 板

NPO 法人等が関わる催しもの等の情報です。

♪テディ・パパヴラミ ヴァイオリンソロコンサート		第9回 市民学習会
日時	4月 21 日 (土)	テーマ ストレスとメンタルヘルス
開場	18:00 開演 18:30	日時 4月 11 日 (水)
会場	白河市文化センター	19:00 ~ 20:30
チケット	前売り：大人 2500 円 高校生以下 2000 円	場所 福島市保健福祉センター
当日	：大人 3000 円 高校生以下 2500 円	講師 宍戸 壽明先生
販売所	白河市文化センターほか	(上野寺心身クリニック院長)
問合わせ先：	NPO 法人カルチャーネットワーク 〒961-0053 白河市中田 140 白河市文化センター内 TEL 0248-22-5220	問合わせ先： BFC (バリア フリー コミュニティ ふくしま) 〒960-8116 福島市春日町 8-39 TEL 024-531-1027

どうすっぺふくしま博覧会 実行委員会開催

実行委員会では現在次のような活動をしています。

- ① どうすっぺふくしま博覧会参加団体へのアンケート調査
- ② まちづくり情報誌の発行 (3月下旬発行予定)

今までのどうすっぺふくしま博覧会の活動の歩みと、第4回どうすっぺふくしま博覧会の各シンポジウムの内容が盛りだくさん！

第5回をむかえるに当たり今後の展開について実行委員会を開催します。開催日時については追って連絡します。

問合わせ先：どうすっぺふくしま博覧会実行委員会事務局、協同組合シープレックス：担当薄井
〒960-8034 福島市置賜町 1-29 佐平ビル 8F TEL024-528-7599 FAX024-528-7598

情 報

大 募 集！

「のっぽの手」では福島県内の NPO 法人、市民団体の催しものなどの情報を提供していきます。情報を当センターまでお寄せください！「のっぽの手」に掲載します。

- 1、イベント名、情報名（イベント等の簡単な内容もお願いします）
- 2、日時、会場、料金
- 3、主催者
- 4、お問い合わせ先

以上を簡潔に明記し、ふくしま NPO ネットワークセンターまで FAX にてご返送くださいますよう、お願いいたします。

福島県におけるNPO法人認証状況

※ 福島県におけるNPO法人の認証状況は、次のとおりです。

地域	No.	名称	住所	主な活動内容	電話
県北	1	FBC事務所	福島市宮町3-19	社会教育・子どもの健全育成・生涯学習	024-522-9118
	2	クラブネット	福島市鎌田字町46-4	スポーツ振興	024-536-0692
	3	サスティナブル・コミュニティ研究所	伊達町字諏訪野1-1-61 住宅生協内	まちづくり事業の推進	024-521-3141
	4	ふくしまNPOネットワークセンター	福島市置賜町1-29 佐平ビル8F	福島県内を対象にしたNPOサポートセンター	024-528-1211
	5	まごころサービス国見センター	伊達郡国見町大字藤田字南54-2	在宅介護サービス等	024-585-5923
	6	まごころサービス福島センター	福島市御山字東壁谷沢22-1	在宅介護サービス等	024-554-1632
	7	よつばのクローバー	福島市成川字五反田9-1	在宅福祉サービス	024-539-8861
	8	子育てさぽーとくらぶ	本宮町大字仁井田字樹形42-60	子どもの健全育成事業の推進	0243-34-3640
	9	福島県高齢者・障害者住宅支援協会	福島市北矢野目字成田小屋12	高齢者・障害者住宅づくりへの支援	024-553-3151
県中	10	こどもの森	須賀川市大字西川字池ノ上52-1	子育て支援	0248-72-2804
	11	サクラ	岩瀬郡鏡石町大字鏡田字大池62	在宅介護支援	0248-62-3256
	12	ハートネットふくしま	郡山市桑野1-22-11 サコビル4F-C	災害	024-991-1701
	13	まごころサービス郡山中央センター	郡山市桑野2-35-13	在宅福祉サービス事業	024-936-0534
	14	後藤至誠記念会	郡山市安積町成田字漆山50	保険・医療・福祉の推進	024-937-3151
	15	市民メディア・イコール	郡山市神明町7-1 SOHOPLAZA207号	男女共同参画	024-991-7141
	16	市民活動センター	郡山市桑野1-22-11 サコビル1F-B	保険・医療	024-925-1104
	17	日本介護協会	郡山市西の内1-11-12 カーサ国分1F	保険・医療・福祉の推進	024-936-3270
県南	18	カルチャーネットワーク	白河市字中田140 白河市文化センター内	文化・芸術・スポーツ振興	0248-22-5220
	19	訪問美容サービスセンター	白河市明戸193-2	高齢者・障害者福祉・美容訪問サービス	0248-23-0039
会津	20	さくら訪問看護協会	会津若松市一箕町大字屋旗八幡字牛ヶ墓137-3	保険・医療・福祉の推進	0242-26-8712
	21	ばんだい2000	耶麻郡猪苗代町字渋谷2483 磐梯莊	歴史・文化・スポーツの振興	0242-64-3383
	22	会津NPOセンター	会津若松市旭町4-25	まちづくりサポート事業	0242-39-6539
	23	喜多方子ども劇場	喜多方市字常盤台58	子どもの健全育成	0241-23-2745
相双	24	ふれあいらんど	原町市北町379-1	在宅福祉サービス	0244-22-1681
	25	みどりと花の大地学園	原町市高見町1-208-1	環境保全活動	0244-24-0603
	26	ライブリー小高訪問看護ステーション	相馬郡小高町小高字金谷前84	在宅訪問介護事業	0244-66-2722
	27	介護支援協会	原町市牛越字館下136	保険・医療・福祉の推進	0244-24-5043
	28	介護福祉組合	原町市牛越字館下136	訪問介護事業	0244-24-4999
いわき	29	フォーラムパワーアップいわき	いわき市平三倉69-6 松田ビル2F	まちづくりサポート事業	0246-22-6936

※上記名簿は「福島県県民生活課」(NPOに関する担当課)の提供によるものです。一部「ふくしまNPOネットワークセンター」の責任による情報提供の仕方に加工している部分もありますので詳細は当センターにお問い合わせ下さい。※※この表は福島県のNPO法人認定団体の認証順ではなく地域別にしたものです。

ふくしま NPO
ネットワークセンター
会員募集！

■ふくしま NPO ネットワークセンターでは、NPO 活動・市民活動を支援していく会員を募集しています。

■会員特典

- 本センター開催のセミナー・研究会などに優先的に参加できます。
- NPO 活動や市民活動などで何か困っていることがあれば相談することができます。
- NPO 活動・市民活動の情報を得ることができます。
- 本センターの情報誌が届きます。
- 他の市民団体等との連携などをサポートします。

■月 833 円で、私たちの未来を開くまちづくりのお手伝いに参加してみませんか？

- 正会員 年会費 10,000 円
- 準会員 年会費 1 口 5,000 円
- 賛助会員 5 口 50,000 円

■私たちも市民活動団体（NPO）を支援ていきます。

※次の企業の方々が「ふくしま NPO ネットワークセンター」の賛助会員になられました。

(順不同。2001年3月14日現在)

・六陽印刷 ・タカラ印刷 ・ウェブラン ・東邦銀行 ・福島信用金庫

のっぽの手

NPO という言葉が、「のっぽ」になってきた。目をキヨロキヨロ、耳をそばだて、情報センター基地よろしく背伸びし、『野つ穂』という在野からの豊かな実りを実現するために手をさしのべ携えていく、というイメージです。

編集後記

※はじめての編集、はじめての取材、はじめてづくしの経験でしたが、とても勉強になりました。広報誌の裏には様々なドラマがあるのだなーと実感しました。(F)

※情報誌作りの最後の追い込みで、修正作業のお手伝いをしました。明日は土曜日、何とか本日中に原稿の修正し印刷しなければ…。何とか間に合ってホッとしています。(A)

※第1号から2号発刊まで、あまりにも時間が過ぎ、ゴメンナサイ!! 情報誌担当は、情報発信が命。サボっていたわけではないのですが、結果的には同じことだと反省しています

3号は、もっと短いサイクルで発刊予定です。(S)

ふくしま NPO ネットワークセンター 事務局

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル 8F

TEL 024-528-1211 FAX 024-528-1218

<http://sendai.cool.ne.jp/fukushimanpo>